

個別規程 IIJ FiberAccess/C サービス

令和7年7月1日現在
株式会社インターネットイニシアティブ

第1条(種類)

IIJ FiberAccess/C サービスには、次の種類(以下この個別規程において「種類」といいます。)があります。

種類	内容
ホームタイプ	中部テレコミュニケーション株式会社が提供する「コミュファ光」中、「ホーム 100・セレクト」、「30 メガホーム・セレクト」、「30M ホーム・セレクト」、「300メガホーム・セレクト」、「300M ホーム・セレクト」、「100メガマンションV・セレクト」、「100M マンションV・セレクト」、「100メガマンションL・セレクト」、「100M マンションL・セレクト」、「マンションF100・セレクト」、「300メガマンションF・セレクト」、「300M マンションF・セレクト」、「1ギガホーム・セレクト」、「1G ホーム・セレクト」、「1ギガマンションF・セレクト」及び「1G マンションF・セレクト」に対応したインターネットプロトコルによる相互通信を提供するもの
ビジネスタイプ	中部テレコミュニケーション株式会社が提供する「ビジネスコミュファ光」回線及び当該回線に対応したインターネットプロトコルによる相互通信を提供するもの

第2条(品目)

IIJ FiberAccess/C サービスには、種類毎に、次の品目(以下この個別規程において「品目」といいます。)があります。

種類	品目	内容
ホームタイプ	1/256C	割り当てられる IPv4 アドレスの空間の大きさが 1/256C であるもの
	1/64C	割り当てられる IPv4 アドレスの空間の大きさが 1/64C であるもの
	1/32C	割り当てられる IPv4 アドレスの空間の大きさが 1/32C であるもの
ビジネスタイプ	1/256C	割り当てられる IPv4 アドレスの空間の大きさが 1/256C、IPv6 アドレス空間の大きさが/56 であるもの

第3条(回線種別)

種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスには、次の回線種別(以下この個別規程において「回線種別」といいます。)があります。

種類	回線種別	内容
ビジネスタイプ	100Mbps	通信速度を最大 100Mbps とするビジネスコミュファ光を提供するもの
	1Gbps	通信速度を最大 1Gbps とするビジネスコミュファ光を提供するもの

第 4 条(最低利用期間)

IIJ FiberAccess/C サービスに係る IIJ インターネットサービス契約(以下「IIJ FiberAccess/C サービス契約」といいます。)における最低利用期間は次の通りとし、その起算日は、課金開始日とします。

種類	最低利用期間
ホームタイプ	1 ヶ月
ビジネスタイプ	1 年

第 5 条(IP アドレスの特定)

種類をホームタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスにおいて使用できる IP アドレスは、IPv4 アドレスとします。

2 種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスにおいて使用できる IP アドレスは、IPv4 アドレス及び IPv6 アドレスとします。

3 契約者が IIJ FiberAccess/C サービス契約において使用する IP アドレスは、当社が指定します。

4 契約者は、前項の IP アドレス以外の IP アドレスを使用して IIJ FiberAccess/C サービスを利用することはできません。

第 6 条(契約内容の変更)

契約者は、IIJ FiberAccess/C サービスの種類、品目及び回線種別を変更することはできません。

第 7 条(ネットワークの接続)

当社は、当社が定める技術基準に従って、中部テレコミュニケーション株式会社が提供する「コミュファ光」の利用に係る IP 通信網と当社が IIJ FiberAccess/C サービスを提供するために設置するネットワーク接続装置との接続を行います。

第 8 条(品質保証)

IIJ FiberAccess/C サービスにおいては、次の事項について品質を保証するものとし、その保証基準は別紙 1 の定めによるものとします。

- (1) 遅延時間

2 前項の規定は、契約者が一般規程又はこの個別規程に定める契約者の義務に違反した場合及び前項の保証に対する違背が当社の責に帰すべき事由によるものではないときは、適用しません。

第 9 条(機器の管理)

種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、当社が貸与する端末設備につき、次の事項を遵守するものとします。

- (1) 端末設備を当社の承諾なく回線設置場所から移動しないこと
- (2) 端末設備を日本国外に持ち出さないこと
- (3) 端末設備を譲渡又は担保に供さないこと
- (4) 端末設備を当社の承諾なく転貸又は売却して第三者に利用させないこと
- (5) 端末設備を分解、解析、改造、改変などして、引渡し時の状態から変更しないこと
- (6) 端末設備を善良な管理者の注意をもって管理すること

2 IIJ FiberAccess/C サービス契約が事由の如何を問わず終了した場合、その他端末設備を利用しなくなった場合には、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、遅滞なく端末設備を当社に返還するものとします。

第 10 条(故障が生じた場合の措置等)

種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、端末設備に故障が生じたときは、可及的速やかに当社が定める方法によりその旨を当社に通知するとともに、当社の指示があった場合は当該端末設備を当社に返還するものとします。

2 前項の返還があったときは、当社は、代替機の送付を行います。

3 端末設備の故障が契約者の責によるものである場合には、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、当社に対し、別紙 2 の 3.一時費用(3)に定める金額を支払うものとします。

第 11 条(亡失品に関する措置)

種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、端末設備を亡失した場合は可及的速やかに当社が定める方法により当社に通知するものとし、当社は、当該通知があったときは代替機の送付を行います。

2 当社は、亡失品(第 9 条(機器の管理)第 2 項に定める返還がなかった場合の当該端末設備を含みます。)の回復に要する費用について、事由の如何を問わず、亡失負担金として当社が発行する請求書により契約者に請求するものとし、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、当社に対し亡失負担金を支払うものとします。

3 亡失品が発見された場合の取り扱いについては、以下のとおりとします。

- (1) 契約者の責任において、法律に従って処分するものとします。当社は、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者が、当該亡失品を使用することについて一切の責任及び義務を負わないものとします。
- (2) 当社に対して返還又は送付された場合であっても、当社に支払われた亡失負担金は返金しないものとします。
- (3) 亡失品についても、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスの契約者は、第 9 条(機器の管理)第 1 項各号に定める事項の遵守義務を免れるものではありません。

第 12 条(端末設備の保守受付対応時間等)

当社は、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスにあつては、24 時間 365 日の態様による端末設備の保守の受付及び平日の当社が定める時間帯の現地保守作業を行います。

2 現地保守作業の結果、種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスが当該サービスの契約者の責に帰すべき事由により利用し得ない状態であったことが明らかとなったときは、当該サービスの契約者は、当社に対し、当該作業に関して要した費用を支払うものとします。

第 13 条(サービスの廃止)

当社は、中部テレコミュニケーション株式会社が「コミュファ光」又は「ビジネスコミュファ光」の提供を終了した場合、対応する品目の IIJ FiberAccess/C サービスを廃止します。

第 14 条(解除の効力が生ずる日)

IIJ FiberAccess/C サービスにおいて、契約者が当社所定の解約申込書で通知をした場合、当該通知が当社に到達した日から 30 日を経過する日又は契約者が当該通知において解除の効力が生ずる日として指定した日のいずれか遅い日に、当該契約の解除の効力が生ずるものとします。

第 15 条(構内配線設備等の撤去)

契約者は、IIJ FiberAccess/C サービスを利用するために使用していた契約者の構内配線設備等の撤去について、前条(解除の効力が生ずる日)第 1 項の解約申込書に記載して当社に申し出をすることにより、当社による撤去工事を受けることができるものとします。この場合において、撤去実施日時は、当社と契約者が別途合意した日時とします。

2 前項の撤去に要する費用は、別紙 2 の 3.一時費用(4)に定める金額とします。

第 16 条(料金)

契約者が、IIJ FiberAccess/C サービスの利用に関して支払うべき料金の額は、別紙 2 のとおりとします。この場合において、初期費用の支払義務は IIJ FiberAccess/C サービスの申込を当社が承諾した時点で、月額費用の支払義務は課金開始日に、一時費用の支払義務は当該一時費用の発生に係る契約内容変更の申込を当社が承諾した時点で、それぞれ発生するものとします。

第 17 条(最低利用期間内解除調定)

IIJ FiberAccess/C サービスがその最低利用期間の経過する日前に解除された場合(一般規程第 28 条(契約者の解除)第 2 項又は第 3 項の規定に基づき解除された場合を除きます。)には、契約者は、別紙 3 に定める金額を支払うものとします。

第 18 条(料金の減額)

当社の責に帰すべき事由により IIJ FiberAccess/C サービスが全く利用し得ない状態(全く利用し得ない状態と同じ程度の状態を含みます。以下同じとします。)が生じた場合において、当社が当該状態が生じたことを知った時から連続して 24 時間以上の時間(以下「利用不能時間」といいます。)当該状態が継続したときは、当社は、契約者の請求に基づき、別紙 4 に定めるところにより IIJ FiberAccess/C サービスの料金の減額を行うものとします。ただし、契約者が当該請求をし得ることとなった日から 3 ヶ月を経過する日までに当該請求をしなかったときは、契約者はその権利を失うものとします。

2 IIJ FiberAccess/C サービスにおいて第 8 条(品質保証)に定める品質保証の違背が発生した場合は、当社は、別紙 4 に定めるところにより、IIJ FiberAccess/C サービスの料金の減額を行うものとします。この場合において前項の減額と本項の減額とが重複するときは、当該減額の合計額は、月額費用の額をその限度額とします。

第 19 条(通信環境保全)

当社は、契約者の通信環境保全を目的として、契約者の通信量を計測するものとします。また、計測の結果、帯域が逼迫している等通信環境が劣化する可能性があるとして当社が認めた場合には、当社から契約者に対し、他の当社サービスへの切り替えの提案を行う場合があり、契約者はあらかじめこれらに同意するものとします。

第 20 条(技術的事項)

IIJ FiberAccess/C サービスにおける技術的事項は、別紙 5 のとおりとします。

附則

平成 17 年 4 月 1 日施行

この契約約款は、平成 17 年 4 月 1 日から実施します。

平成 17 年 11 月 1 日変更

この契約約款は、平成 17 年 11 月 1 日から実施します。

平成 18 年 2 月 1 日変更

この契約約款は、平成 18 年 2 月 1 日から実施します。

平成 18 年 12 月 1 日変更

この契約約款は、平成 18 年 12 月 1 日から実施します。

平成 21 年 4 月 1 日変更

この契約約款は、平成 21 年 4 月 1 日から実施します。

平成 21 年 5 月 1 日変更

この契約約款は、平成 21 年 5 月 1 日から実施します。

平成 23 年 11 月 1 日変更

この契約約款は、平成 23 年 11 月 1 日から実施します。

平成 23 年 12 月 1 日変更

この契約約款は、平成 23 年 12 月 1 日から実施します。

平成 24 年 10 月 1 日変更

この契約約款は、平成 24 年 10 月 1 日から実施します。

平成 24 年 11 月 1 日変更

この契約約款は、平成 24 年 11 月 1 日から実施します。

平成 25 年 4 月 1 日変更

この契約約款は、平成 25 年 4 月 1 日から実施します。

平成 26 年 4 月 1 日変更

この契約約款は、平成 26 年 4 月 1 日から実施します。

平成 28 年 8 月 1 日変更

この契約約款は、平成 28 年 8 月 1 日から実施します。

平成 29 年 8 月 1 日変更

この契約約款は、平成 29 年 8 月 1 日から実施します。

平成 31 年 4 月 1 日変更

この契約約款は、平成 31 年 4 月 1 日から実施します。

令和 6 年 8 月 1 日変更

この契約約款は、令和 6 年 8 月 1 日から実施します。

令和 7 年 7 月 1 日変更

この契約約款は、令和 7 年 7 月 1 日から実施します。

別紙 1 IIJ FiberAccess/C サービスにおける品質保証 [第 8 条関係]

遅延時間

(1) 保証基準

利用月における当社の基幹ネットワークセンタ(東京、渋谷データセンター及び大阪)と国内全てのネットワークセンタ及びデータセンターの平均遅延時間が、以下に示す保証値を超えないこと。

区間	保証値
国内	25ms

備考

(1)国内区間とは、当社の基幹ネットワークセンタ(東京、渋谷データセンター及び大阪)と国内全てのネットワークセンタ及びデータセンターの区間をいいます。

別紙 2 IIJ FiberAccess/C サービスにおける料金等 [第 16 条関係]

1 初期費用

(1) IIJ FiberAccess/C サービスの内容に応じ、当社が別途契約者に示す金額

2 月額費用

(1) IIJ FiberAccess/C サービスの内容に応じ、当社が別途契約者に示す金額

3 一時費用

(1) 第 10 条(故障が生じた場合の措置等)第 3 項に基づく端末設備の故障にあつては、当社が別途契約者に示す金額

(2) 第 11 条(亡失品に関する措置)第 2 項に基づく亡失負担金にあつては、当社が別途契約者に示す金額

(3) 第 15 条(構内配線設備等の撤去)第 2 項の撤去に要する費用にあつては、当社が別途契約者に示す金額

別紙 3 最低利用期間内解除調定金 [第 17 条関係]

IIJ FiberAccess/C サービスの種類及び品目に応じ、第 3 条(最低利用期間)の規定に基づき設定された最低利用期間の残余の期間に対応する別紙 2 の 2.月額費用に定める金額

別紙 4 料金の減額 [第 18 条関係]

1 利用不能時の減額 (第 18 条第 1 項関係)

利用不能時間を 24 で除した数(小数点以下の端数は切り捨てます。)に月額費用の 30 分の 1 を乗じて算出した額を減額するものとする。

2 品質保証違背時の減額 (第 18 条第 2 項関係)

月額費用の 30 分の 1 を減額するものとする。

別紙 5 技術的事項 [第 20 条関係]

1 種類をホームタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスにおける責任分界点は、当社通信機器と中部テレコミュニケーション株式会社の IP 通信網の相互接続点との接続点とします。

2 種類をビジネスタイプとする IIJ FiberAccess/C サービスにおける責任分界点は、当社が貸与する端末設備と契約者の構内ネットワークとの接続点とします。